

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	5月～9月
授業科目	生理解剖学		担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	身体 の 最小単位である細胞の持つ様々な構造と働き、および細胞、組織、器官、固体それぞれのはたらき(機能)に応じたつくり(構造)が対応していることを理解する。人体のしくみ、構造と働きの基本を理解し、その上で美容施術を行うために必要な、骨格・筋肉・血管・リンパ・神経について学ぶ					
到達目標	・エステティック技術を行う上で必要となる体の仕組みについての構造と働きについて、説明ができる ・基本的な骨格、筋肉、臓器の場所と名称を覚え、マッサージ練習に繋げることができる					
授業計画	総授業時間数 30 時間 授業回数 14 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	レッスン2骨格系・筋系 1体区分				2
	2	レッスン2骨格系・筋系 2. 骨格&筋肉系(1)骨格系 ②骨の構造、③関節、④構成				2
	3	レッスン2骨格系・筋系 (2)筋肉 ②筋肉の種類 ③骨格筋 ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋				2
	4	レッスン8 消化器系 1.消化作用				2
	5	レッスン1 身体の基本 1. 身体 の 構成2.身体 の 設計図 3.身体 を 構成する物質 必要な物質				2
	6	レッスン1 身体の基本 4.血液 物質運搬 (1)血液 (2)赤血球 (3)白血球				2
	7	レッスン5 内分泌系 1.内分泌系の役目 2.各内分泌とホルモンの種類				2
	8	レッスン9 泌尿器系 1.腎臓との働き 前期 テスト				2
	9	レッスン3 神経系 1.神経細胞 2.神経系の種類 3.中枢神経系 脳の構造と機能グループ (3)間脳 視床、視床下部 (4)脳幹				2
	10	レッスン3 神経系 4.末梢神経 脊髄神経と脳神経 (2)自律神経のはたらき				2
	11	レッスン10 生殖器系 1月経のメカニズム レッスン7 循環器系 1.心臓の構造 2血液循環				3
	12	3心臓の興奮伝達経				2
	13	レッスン6 呼吸器系 1.呼吸器系のあらましと構造4. リンパ系				3
	14	生理解剖学テスト				2
	合計時間数				30	
教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I					
時間外 学習	自宅学習用の宿題プリントにて、骨・筋肉の名称を確実に覚える					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1.実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	4月～2月
授業科目	皮膚科学		担当者	大城 絵見理	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	皮膚の役割や機能などの基礎知識とスキンケアについての理解を深める					
到達目標	エステティック技術を行う上で必要となる皮膚の構造と働きを理解し、肌トラブルに応じたアドバイスができる					
授業計画	総授業時間数 30時間 授業回数 15回 1回授業 45分					授業時間数
	1	Lesson1-1.生態における皮膚の役割 2.皮膚の構造と働き(3)構造				2
	2	皮膚の構造・表皮のターンオーバー				2
	3	表皮4つの層の働き・表皮の付属器官				2
	4	汗腺の種類・真皮の働き、構造・皮下組織の構造				2
	5	皮膚の構造(確認テスト)・皮膚膜、各質層バリア				2
	6	表皮のタンオーバー・メラノサイトの働き・毛細血管の働き				2
	7	線維芽細胞の働き・色素沈着・シミの種類・UV				2
	8	皮膚学前期テスト 肌の美しさを損ねる要因				2
	9	女性ホルモンと肌への影響				2
	10	さまざまな肌の状態 美しい肌の条件肌・タイプ				2
	11	衰えた肌・色素沈着				2
	12	ニキビの状態・できる要因				2
	13	肌荒れと敏感肌				2
	14	肌分析				2
	15	皮膚学後期テスト				2
	合計時間数					30
教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I					
時間外 学習	自宅学習用の宿題プリントにて、皮膚構造の名称を確実に覚える					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス					
令和 7 年度		学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ			
学科・学年	トータルビューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	6月～7月
授業科目	栄養学	担当者	大城 絵見理	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	エステティック施術後の良い状態を保つためのアドバイスの応用できるよう、食物の栄養素と健康の関係について理解を深める				
到達目標	美しい肌、ボディラインづくりに必要とされる栄養の知識を修得し、アドバイスができる				
授業計画	総授業時間数 24 時間 授業回数 9 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	Lesson1-1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素(1)蛋白質			2
	2	(2)脂質 (3)炭水化物 (4)無機質と水			2
	3	(5)ビタミン 3. 栄養価(1)エネルギー価 4. 栄養所要量(1)基礎代謝			2
	4	5. 食物摂取とその消化吸収 6. 栄養学から見た食品Lesson2-1. (1)栄養歴			3
	5	2-2. 肥満(2)BMI値(5)肥満の原因3.(2)生活習慣病 4. 美容と栄養			3
	6	Lesson2健康と栄養Lesson3サプリメント Lesson4. 食品添加物、チェックテスト			3
		合計時間数			15
	教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅱ			
時間外 学習	自宅学習用の宿題プリントにて、5大栄養素やその役割を覚える				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考	
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/			

シラバス					
令和 7 年度		学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ			
学科・学年	トータルビューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	6月
授業科目	化粧品学	担当者	島袋 優	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	化粧品概論(化粧品の法律上の扱いや分類)、フェイシャル・ボディ化粧品の取り扱い上の留意点や目的と機能、使用される主な原料について理解を深め、化粧品についての基礎知識を修得する				
到達目標	化粧品効果で必要となる代表成分について理解し、お客様の肌タイプや肌の悩みに応じた化粧品の提案、自身の肌管理へ活かしていく				
授業計画	総授業時間数 15時間 授業回数 5回 1回授業 45分				授業時間数
	1	【レッスン1】 ①化粧品・医薬部外品と薬事法 ②化粧品の分類 ③化粧品の品質と品質と品質保証 ④化粧品の取り扱い上の留意点			2
	2	【レッスン2】 ①フェイシャル化粧品の目的と働き ②洗顔化粧品 ③整肌化粧品 ④賦活化粧品 【レッスン3】 ①ボディ化粧品の目的と働き ②洗浄料③シェイプアップ料④サンケア料⑤制汗・防臭料 ⑥浴用料⑦除毛料			2
	3	【レッスン2】 ①フェイシャル化粧品の目的と働き ②洗顔化粧品 ③整肌化粧品 ④賦活化粧品 【レッスン3】 ①ボディ化粧品の目的と働き ②洗浄料 ③シェイプアップ料 ④サンケア料 ⑤制汗・防臭料 ⑥浴用料 ⑦除毛料			3
	4	【レッスン4】 ①メイクアップ化粧品の目的と働き ベースメイクアップ、ポイントメイクアップ			2
	5	【レッスン9】化粧品に用いられる薬剤とその働き ①紫外線カット剤 ②酸化防止剤 ③防腐防カビ剤 ④美白剤 【レッスン8】化粧品の原料 ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分子、着色剤、香料			2
	6	【レッスン9】化粧品に用いられる薬剤とその働き ①紫外線カット剤 ②酸化防止剤 ③防腐防カビ剤 ④美白剤 【レッスン8】化粧品の原料 ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分子、着色剤、香料			2
	7	総合まとめ筆記テスト			2
	合計時間数				15
	教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅱ 日本化粧品検定2級テキスト			
時間外 学習	化粧品成分の理解を深めるよう、身の回りにある化粧品の成分を見て復習をする				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/			

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科・1年		授業方法	実習	講義時期	4月～3月
授業科目	エステティック実習Ⅰ		担当者	上原・崎浜	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	ボディマッサージの基本手技、お客様のボディ診断、施術の組み立て、ホームケアアドバイスまでのトリートメント技術を習得する。 フェイシャルケアのクレンジング方法(ポイントメイク、全体のクレンジング、ディープクレンジング)の習得					
到達目標	・ボディ技術の基本、ボディ悩みに対する基本的なアドバイスができる ・ボディエステティックマッサージができる ・フェイシャルクレンジング、ディープクレンジングの目的を理解し、施術ができる					
授業計画	総授業時間数 110時間 授業回数 36回 1回授業 45分					授業時間数
	1	テキスト教材配布、名前記入、スチームタオルの作り方、エステ室使用方法、実習時の準備物、エステワンプ採寸 ハンドマッサージ				3
	2	タオルの上からM、ハンドM、ショルダーM				5
	3	ボディMの準備、セッティング、モデル案内 足後面M①基本姿勢				3
	4～8	足後面				8
	9	足前面①				2
	10	2年フェイシャルモデル				3
	11	足前面②				2
	12	F実技試験モデル				5
	13	滝川講習会(フェイシャル・ボディ)				3
	14	足前面③				2
	15～16	背中				5
	17	ワックス脱毛				3
	18	美容ライト脱毛				2
	19	背中				2
	20～26	通し練習①				26
	27～28	ボディ模擬試験①				11
	29	ボディ実技試験				5
	30	アロマテラピー				3
	31～32	フェイシャルクレンジング①				6
	33	ディープクレンジング吸引				2
	34	フェイシャルパック				3
	35	フェイシャルマッサージ軽擦法				3
	36	フェイシャル機器パター				3
		合計時間数				110
教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 技術編Ⅰ					
時間外 学習	次回授業までの復習のため自宅学習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	4月～3月
授業科目	エステティック理論		担当者	崎浜/大城/上原/金城	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	エステティック技術に必要な生命活動とホメオスタシス(生体恒常性)・運動生理学・衛生管理・カウンセリング学を学ぶ					
到達目標	エステティック技術に必要な知識を身につけ、コンサルテーション(問診・提案)ができる					
授業計画	総授業時間数		授業回数 21 回 1回授業 45分			授業時間数
	1	エステ概論 エステティシャンとしての心構え ボディエステティックの目的と効果 手の使用部位P46・体の体区分				2
	2	ボディ技術理論 ビフォーカウンセリング 禁忌事項 ボディマッサージ 1基本手技 手法、効果作用、禁忌事項				1
	3	エステ概論 エステティックの概念、レッスン2エステティックの本質と領域 3ソワンエステティック				3
	4	ボディ技術理論 ボディの観察、カウンセリング カウンセリング レッスン①②(エステティックカウンセラーの役割・心のメカニズムと顧客心理 顧客心理のポイント)				2
	5	衛生管理 レッスン①(公衆衛生)1公衆衛生とは何か2世界における公衆衛生の歴史 衛生管理 レッスン②1衛生管理全般 2消毒方法の種類とその基本的な使用法・感染症				2
	6	衛生管理 レッスン③1感染症のメカニズム 2エステティックに関連する感染症 レッスン4衛生管理の実践 テスト				3
	7	ボディ技術理論 カウンセリング レッスン③④(カウンセリングの流れ・カウンセリングの実際 コンサルテーションシート 体型と体質の判断)				3
	8	運動生理学 レッスン①②運動生理学とは 1運動の必要性 2運動の効果 3筋肉について 運動とアンチエイジング 1筋肉と老化 2呼吸				2
	9	ホメオスタシス レッスン①②(生命と適応進化の歴史 生命の適応進化とエステティック・ホメオスタシスとは) 1ホメオスタシスの定義 2ホメオスタシスの実際				3
	10	ホメオスタシス 3ホメオスタシスの具体例 レッスン③(ホメオスタシスを制御するしくみ) 生体のホメオスタシスを制御する脳と3つの配線				3
	11	ホメオスタシス 免疫系、アレルギーのしくみ レッスン				3
	12	運動生理学 心臓と老化 レッスン③④(運動と代謝・運動プログラム)レッスン⑤(姿勢・ポジショニング1姿勢の維持) 2動作と姿勢の関係 レッスン⑥(運動の実際)				3
	13	④(ホメオスタシスを乱すストレス) ホメオスタシスチェックテスト				3
	14・15	カウンセリング コンサルテーション実践				5
	16	フェイシャル技術理論 目的、効果・フェイシャルエステティックの流れ、準備				3
	17・18	ワックス脱毛理論①②				5
	19	エステ機器 目的、効果、禁忌事項				3
	20	フェイシャル技術理論 ディープクレンジング、マッサージ目的、効果、禁忌事項				3
	21	エステ機器テスト				3
		合計時間数				55
教科書	新エステティック学理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ					
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員		備考	
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	4月～5月
授業科目	メイクアップ概論		担当者	島袋 優	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	メイクに関連する基本メイク理論(化粧品業界、コスメブランド、お顔の成り立ち、スキンケア、紫外線)について学び、メイクに対する興味を深め、知識の幅を広げる					
到達目標	基本メイク理論を理解し、メイクアップ実技、自身のセルフケア、肌質別スキンケア基礎知識の習得					
授業計画	総授業時間数		18時間	授業回数	11回	1回授業 45分
						授業時間数
	1	前期シラバス伝達 セルフ使用コスメ紹介				2
	2	shuueamuraブランド概要①(歴史、商品)				2
	3	国内ブランド/外資ブランド/韓国ブランド/コスメ業界について				1
	4	基本知識(基本知識/皮膚/骨格/筋肉)顔のパーツ名称について				1
	5	間違いがちなスキンケアについて/肌タイプの分類、セルフ肌タイプ確認				2
	6	間違いがちなスキンケアについて/肌タイプ別スキンケア				2
	7	間違いがちなuvケア				1
	8	uvケアの基本				2
	9	メイクアップ錯効果 メイクアップ黄金バランス				2
	10	メイクアップデッサンシート作成(フォトコンテストデッサン)				1
	11	総まとめテスト				2
合計時間数						18
教科書	shuueamuraテキスト 日本化粧品検定2級テキスト					
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス					
令和 7 年度		学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ			
学科・学年	トータルビューティー科 1年	授業方法	演習・実技	講義時期	4月～3月
授業科目	メイクアップ実習 I	担当者	島袋/大城	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	メイクアップに必要なスキンケアからメイクアップまでの基本テクニックを習得する shu uemuraメイクアップ技術検定の手技習得 メイクアップフォトコンテスト作品創作				
到達目標	クレンジング～フルメイクまでメイクアップの基礎習得 メイクアップの基礎技術を身につけ、shu uemuraメイク技術検定の手技取得 (※shu uemura検定受験希望者は検定取得) JMAメイクアップ協会フォトコンテストへの入賞 化粧品、メイクアップへの興味を広げ実質的に役立つ知識、テクニックの習得				
授業計画	総授業時間数 145 時間 授業回数 41回 1回授業 45分				授業時間数
	1	教材配布①			3
	2	セルフメイク①スキンケア基礎テクニック実践			3
	3	セルフメイク②セルフメイクアップ基礎テクニック実践			3
	4	技術者としての心得について 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル掛け、ダッカード、スキンケア手技 ウィッグで練習)			3
	5	化粧品店頭お買い物授業調べ学習			2
	6	店頭お買い物授業			3
	7	姿勢、身嗜み、セッティング、ケープ、ダッカード、立ち姿勢、 リタッチメイク練習①(ポイントメイク/フルメイク編)			3
	8	リタッチメイク練習②(ポイントメイク/フルメイク編)			3
	9	リタッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編)			5
	10	企業研究プレゼンテーション授業見学			3
	11	トレンドメイクアップ			3
	12～17	ベーシックメイク(基本スキンケア～メイクテクニック)			18
	18	フォトコンテスト動機付け/作品情報収集			3
	19～24	フォトコンテスト作品作成			19
	25	フォトコンテスト作品作成(撮影)			5
	26	ポイントメイク			2
	27	現在のトレンド店舗調査			3
	28	個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ			3
	29	イベントメイクアップ実習			3
	30	フリーメイク			3
	31～33	shu uemura検定対策			10
	34	就職活動用メイク			3
	35～40	shu uemura検定対策			33
	41	メイク進級試験(1年生対象)			6
					145
教科書	shu uemuraテキスト/ipad教材動画				
時間外 学習	次回授業まで自宅学習にて復習を行う				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	実習	講義時期	4月～3月
授業科目	ネイル実習 I		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	・マニキュア技術に必要な技術理論と、爪のケア、カラーリング、基本アートの技術を習得する ・ネイルリペア技術(チップラップ)で爪の補修技術を習得 ・ジェルネイルの基本的なジェルカラーリングを習得					
到達目標	・JNECネイリスト技能検定試験3級レベルの技術(ネイルケア、カラーリング、フラワーアート) ができる ・JNECネイリスト技能検定試験2級レベルの技術(ハーフチップでの長さだし、リペア補強) ・JNAジェルネイル初級検定試験レベルの技術(ジェルカラーリング、ジェルアート) ができる					
授業計画	総授業時間数 164 時間 授業回数 49回 1回授業 45分					授業時間数
	1	教務紹介、教材配布、基本セッティング				3
	2	基本セッティング・基本実技(ファイリング)				3
	3	基本実技(ファイリング・5種類カットスタイル)				3
	4	3級課題フラワーアート・ブラシワーク				9
	5	ジェル教材配布、ジェル基本カラーリング				3
	6	ジェル基本カラーリング・ピーコックアート				3
	7	ケア技術(メタルプッシャー基本)				3
	8～9	ケア技術(ネイルニッパー基本)				6
	10～12	ケア技術・カラーリング				8
	13～23	3級通し練習(実技・筆記)				53
	24	フットネイル(ケア・ファイリング)				3
	25	フットネイル(ケア・カラーリング)				3
	26	ジェル(フォルム形成・ラメグラデーション・ワンカラー)				2
	27	ジェル(ワンカラー)				3
	28～29	ジェル(ワンカラー・ラメグラデーション)				3
	30～36	リペア技術(チップ&ラップ:ハーフチップ装着・段差削り・レジン操作)				18
	37	ジェル初級対策(フォルム形成・カラーリング)				3
	38	ジェル初級対策(カラーリング・ピーコックアート)				2
	39～48	ジェル初級通し練習				30
	49	ジェルネイル初級校内試験				3
		合計時間数				164
教科書	テクニカルシステムベーシック・テクニカルジェルベーシックテキスト					
時間外 学習	次回授業まで自宅学習にて復習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	通年	
授業科目	ネイル概論		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	・ネイルの歴史や爪の構造、道具の使用方法などの基本的知識を修得する ・爪の病気やトラブル、衛生管理など、サロンワークにつながる知識を学ぶ ・ジェルネイル技術に必要な材料学、技術理論を習得する						
到達目標	・ネイル技術に必要な爪の構造、道具の使用法がわかり、実技に繋げることができる ・爪の病気やトラブルを理解し、適切な衛生管理ができる ・JNAジェルネイル技能検定試験初級筆記試験(材料学、技術理論)に対応できる						
授業計画	総授業時間数 30時間 授業回数 17回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	テキスト配布・協会説明・授業スケジュール					2
	2	爪のカットスタイル5種類(解説・豆テスト)					2
	3	爪の名称・働き、技術体系					2
	4	テキストP8-11ネイルの世界史・日本史(確認テスト)					2
	5	テキストP20-22 ネイルのための皮膚科学・爪の構造働き(確認テスト)					2
	6	テキストP37-43 消毒法(確認テスト)					2
	7～8	テキストP30-36 病気・トラブル					3
	9～10	ネイル3級筆記 模擬テスト					2
	11	テキストP50-54 色彩理論					2
	12	テキストP23-29 ネイルのための生理解剖学Ⅰ・Ⅱ					2
	13	テキストP44-62 トリートメント理論・化粧品学					1
	14	テキストP55-62 プロフェッショナリズム・カウンセリング・サロン環境					1
	15～16	ジェルP16-25 概論・材料学(確認テスト)					4
	17～19	ジェル検定初級筆記 模擬テスト					3
	合計時間数						30
教科書	テクニカルシステムベーシック						
時間外 学習	ネイル検定試験に向けた筆記問題を宿題プリントとして、自宅学習を行う						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考				
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	ヒューマンスキル		担当者	崎浜/島袋	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	様々な行事への取り組みを通して、主体性、協調性、コミュニケーション力など社会人として必要とされる基本的な能力を磨く。卒業生講話や美容業界に関する講話等を通して職業人としてのあり方を学ぶ					
到達目標	授業及び行事、就職活動等への取り組みについて、自ら考え主体的に行動することができる					
授業計画	総授業時間数 141時間 授業回数 35回 1回授業 45分					授業時間数
	1～4	入学後オリエンテーション/基礎学力テスト				12
	5	新入生歓迎会準備				1
	6	SABFAメイク講習会				3
	7	学科交流会				3
	8	新入生歓迎会				4
	9	月目標設定・健康診断				3
	10	クラスレク				1
	11	サロン見学(エステ・ネイル)				3
	12	ライフプラン講座				3
	13	卒業制作発表会見学				4
	14	終業日夏休み注意事項・クラスレク				3
	15	始業日目標設定				1
	16	秋休みサロン見学動機付け				1
	17	サロン体験発表				3
	18～33	学園祭準備・学園祭				90
	34	終業日 学園祭振り返り 冬休み注意事項				4
	35	終業日1年次振り返り				2
	合計時間数					141
教科書						
時間外学習	各目的に応じた目標を達成するために必要に応じて時間外学習として準備作業に取り組む					
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	演習・講義	講義時期	10月～3月
授業科目	就職実務		担当者	崎浜/島袋/恩河	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	職業倫理や社会人としての心得、仕事への取組み方など職業人としての基本的心構えを学ぶ。併せて履歴書作成や面接対応トレーニング(基礎)を行い就職活動の準備を整える					
到達目標	・基本的な面接応対ができる(入退室、質疑応答) ・履歴書作成ができる ・企業説明会を通し、企業情報収集および企業研究ができる					
授業計画	総授業時間数 45時間 授業回数 13回 1回授業 45分					授業時間数
	1	センスアップセミナー概要説明・前年度実施VTR ・自己表現				2
	2	就活スケジュール 文章作成「面接でうまくこたえられるために(PREP)」				3
	3	前田会長職業講話 合同企業説明会				6
	4	自己PR文章作成 面接練習①				3
	5	面接練習②企業説明会				6
	6	美容科合同 立居振る舞い(受付での自己紹介含む)				3
	7	プレ模擬面接試験 (美容科・トータルビューティー科合同)履歴書の書き方				6
	8	就活説明／労働セミナー				3
	9	職業講話／卒業生講話				3
	10	就職活動(調べ学習①)／企業説明会				3
	11	就職活動(調べ学習②)／企業説明会				3
	12	自己PR文章作成				2
	13	自己PR文章作成				2
	合計時間数					45
教科書	就職活動の進め方					
時間外 学習	自宅学習:模擬面接に向け、自己分析した内容についてスピーチトレーニングを行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	実習	講義時期	4月～2月
授業科目	サロンワーク		担当者	学科職員・実習先	科目必修区分	必修
授業概要	・学んだ美容技術を外部(専門学生、高校生)へレクチャーし、実践経験を積む ・サロンでのインターンシップ実習を通して、基本的な業務の流れ及び具体的業務内容、接客の仕方等を学ぶ					
到達目標	・メイク、ネイル、エステの基本となるお手入れ方法をレクチャーすることができる ・サロン現場で基本的業務の流れ及び具体的業務内容、接客方法を学び、職業観を深め、職種選択に繋げることができる					
授業計画	総授業時間数 37時間 授業回数 6 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	合同サロンワーク(2年生の施術体験)				12
	2～6	インターンシップ				25
合計時間数				37		
教科書						
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	講義	講義時期	8月～11月
授業科目	パーソナルカラー		担当者	大濱 宮子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	色相環から明度、彩度、色相を学び、メイクアップ、ネイル技術に必要な色の組み合わせ、デザイン、ファッションのコーディネート術を学ぶ					
到達目標	・フォーシーズンカラーの基本を理解する ・パーソナルカラー3級検定取得 (似合う色の判断基準となる色素の捉え方やTPO別コーディネート方法知識をアドバイスできる)					
授業計画	総授業時間数 48時間 授業回数 15回 1回授業 45分					授業時間数
	1	授業の進め方について、パーソナルカラーの捉え方、色の三属性、色相環				3
	2	イエローベースとブルーベース ウォームカラーとクールカラー明度と彩度、パーソナルカラーの4グループ 第2章 トーンと4グループのイメージ				3
	3	4グループの三属性、似合う色の基準(肌・髪・眼)、ドレーピング実習				3
	4	ドレーピング、気を付けるポイントと照明光、各章のまとめ、トーン図の作成				3
	5	第2章、3章の振り返りまとめ、第4章対比現象(色相、明度、彩度)				3
	6	第4章、5章、6章のまとめ				2
	7	3級まとめ、3級範囲のテスト(解答&解説)				3
	8	別冊公式問題集(解答&解説)				3
	9～11	過去問題(解答&解説)				11
	12	過去問題より模擬テスト、パーソナルカラー検定3級(校内試験)				5
	13～15	ドレーピングを使用した3属性の見分け方、実践(メイク)				9
	合計時間数				48	
教科書	J-color パーソナルカラー検定公式テキスト3級、2級					
時間外 学習	各章まとめテストや過去問題テストに向けて、復習の為に自宅学習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年		授業方法	演習・講義	講義時期	4月～8月
授業科目	コンピュータ実習		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	サロン業務で必要とされる基本的なオペレーション手法(文書作成・表計算)やDM作成などの基礎的な技術を習得する					
到達目標	Googleドライブの活用、画像処理及び文書作成、簡単な表計算が活用できる					
授業計画	総授業時間数 6時間 授業回数 2回 1回授業 45分					授業時間数
	1	Googleアプリ基礎(Googleの仕組み、共有ドライブ、Gメール)				2
	2	文書作成、表計算、画像・画像処理				3
		合計時間数				
	教科書	特になし				
時間外 学習	ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科 1年	授業方法	講義・演習	講義時期	4～8月
授業科目	志学Ⅰ	担当者	崎浜/島袋	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	KBC学園の教育理念に掲げた「永久戦力」を目指し、人間性を磨き各自の「志」を立てる為に「学生クレド」について理解を深め、望ましい価値観(働く意義)や考え方を身につける				
到達目標	基本的志向や社会性、ストレス耐性、社会人として必要とされるコンピテンシーについて理解し、それらに沿った行動指針である「学生クレド」に掲げた行動を習慣にする				
授業計画	総授業時間数 25時間 授業回数 12回 1回授業 45分				授業時間数
	1	「志学」の学習の目標とねらい ・「志」学の背景、学習目標、「志学」の進め方、学び方			2
	2	～第2章～ 感動 ・感動することの喜び・「協働」の態度を持った学校生活・協力する力(相乗効果を発揮する)を持つ			2
	3	～第1章～ 感謝 ・自分を支えてくれる人の気持ちに気づく ・世界の中の日本 ・目指す人財(永久戦力)の根底にあるのは”感謝心”			2
	4	吉田さんHS ・コミュニケーションゲーム			2
	5	～第5章～ 挨拶 ・より良い人間関係を築く一歩としての挨拶 ・相手に敬意を表する ・思いを伝える挨拶・”挨拶”はコトバ・キモチ・カタチ			2
	6	～第3章～ 思いやり・気配り ・モラル、ルールを考える・人の価値観とマナー・思いやり ・気配りのカタチ・より良い人間関係に繋げる心がけ			2
	7	～第6章～ 素直 ・成長に繋がる人としてのあり方 ・素直とは ・素直な姿勢の基本は”言葉”と”態度” ・素直に叱られる			3
	8	～第7章～ プラス思考 ・自己効力感とは・プラス思考へ繋がる自己肯定感 ・人生を成功に導く ～第8章～ チャレンジ精神 ・目指す仕事への第1歩 ・学習歴社会における学校生活 ・未来を切り開く「チャレンジ精神」 ・目標設定と目標達成			3
	8	～第4章～ 明朗 ・印象の善し悪しが及ぼす影響・明朗な表情が示すもの・態度にも明朗さがある			2
	9	～第9章～ 永久戦力 ・永久戦力とは ・永久戦力を目指して ・「志学Ⅰ」を振り返る			2
	合計時間数				22
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱテキスト				
時間外 学習	学生クレドに基づいた行動を日常生活の中で実践していく				
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント)、 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考		
実務経験紹介	https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義	講義時期	6月～8月
授業科目	メイク概論(企業研究)		担当者	島袋 優	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	化粧品概論(化粧品の法律上の扱いや分類)、フェイシャル・ボディ化粧品の取り扱い上の留意点や目的と機能、使用される主な原料について理解を深め、化粧品についての基礎知識を修得する					
到達目標	化粧品効果で必要となる代表成分について理解し、お客様の肌タイプや肌の悩みに応じた化粧品の提案、自身の肌管理へ活かしていく					
授業計画	総授業時間数 9時間 授業回数 5回 1回授業 45分					授業時間数
	1～3	【レッスン8】化粧品の原料 ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分子、着色剤、香料				6
	4	総まとめ 復習				1
	5	総まとめ 復習				2
		合計時間数				9
	教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅱ 日本化粧品検定2級テキスト				
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義	講義時期	8月～9月
授業科目	エステティック理論		担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	エステティック技術に必要な機器学・カウンセリング学を学ぶ エステティックサロンにおける法律やサロン経営の基礎的な知識、救急の現場に遭遇した際の適切な応急処置を学ぶ					
到達目標	・フェイシャル技術(マッサージ、機器、パック)の目的効果、禁忌事項の説明ができる ・お客様に合わせたトリートメントプランを立て、アドバイスができる ・エステティックセンター試験に対応できる					
授業計画	総授業時間数 45時間 授業回数 18回 1回授業 45分					授業時間数
	1	フェイシャル技術理論				2
	2	フェイシャルカウンセリング①				2
	3	フェイシャルカウンセリング②				2
	4	フェイシャル機器理論				2
	5	フェイシャルカウンセリング③				3
	6	エステティック機器・電気学①電気理論				2
	7	エステティック機器・電気学②人体と電気				2
	8	救急法①救急法の基本、エステティシヤンの関わる救急法				2
	9	救急法②応急手当、一時救命処置				2
	10	サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために				2
	11	救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規				2
	12	エステティック機器・電気学 テスト				2
	13	各章問題テスト①				2
	14	各章問題テスト②模擬試験①				3
	15	模擬試験②				2
	16	模擬試験③				2
	17	模擬試験④午前試験対策				5
	18	午前試験対策、午後エステティックセンター試験				6
	合計時間数					45
教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編Ⅰ					
時間外 学習	肌悩みに適したアドバイス法や化粧品の選択等についての情報収集					
	センター試験対策用問題集					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義	講義時期	4月～5月
授業科目	メイク概論(業界企業研究)		担当者	島袋 優	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	化粧品業界の概況、企業特性について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究、資料作成、プレゼンテーションまでの実施 企業研究を通し、企業の目的、戦略、企業背景、商品に込められた想いを知る チーム内で進めていく中で自身の役割、コミュニケーションスキルを上げていく					
到達目標	企業特性について研究し、相手に分かりやすく筋道を立てたプレゼンテーションスキルを身に着ける。自身のチーム内での役割を果たす					
授業計画	総授業時間数 27時間 授業回数 11回 1回授業 45分					授業時間数
	1	前期メイクスケジュールについて 企業研究概要説明/グループ割り振りリーダー決め/ プレゼンブランド決定/ブランド調べ/グーグルスライド使用方法説明				2
	2～4	企業ブランド調べ				8
	5	化粧品店頭お買い物				3
	6～9	企業ブランド調べ				8
	10	企業研究プレゼン発表※保護者会にてプレゼン予定(実習授業で5コマ)				5
	11	振り返り				1
		合計時間数				27
	出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント)					
	教科書	ipad資料				
時間外 学習	資料作成(ipad)					
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント)・プレゼンテーション授業結果 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	実習	講義時期	4月～9月
授業科目	エステティック実習Ⅱ		担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	クレンジングからフェイシャルマッサージ、機器の基本操作、肌別パックの使用法を学ぶ コンサルテーション(肌診断・問診・提案)を通してお客様のボディ診断、施術内容の組み立て、 ホームケアアドバイスまでのトリートメントを習得する					
到達目標	・フェイシャル技術の基本、肌悩みに対する基本的なトリートメントプラン、アドバイスができる ・日本エステティック協会 認定エステティシャン フェイシャル実技試験に対応できる (クレンジング、カウンセリング、ディープクレンジング、機器、マッサージ、パック)					
授業計画	総授業時間数 90時間 授業回数 23回 1回授業 45分					授業時間数
	1	基礎化粧品調べ学習				3
	2	クレンジング、マッサージ軽擦法①(ウィッグ)				2
	3	クレンジング、軽擦法②				3
	4	クレンジング、軽擦法③				3
	5	クレンジング、マッサージ、軽擦法④強擦法、機器パターマッサージ				5
	6	マッサージ揉捻法、打法、バイブレーション				3
	7	機器導入、パック				3
	8	クレンジング、マッサージ通し練習				5
	9	クレンジング、吸引、マッサージ、パック				5
	10	ディープクレンジング酵素、ゴマージュ、機器、パター、導入				3
	11	コンサル、フェイシャル通し練習(クレンジング、ディープクレンジング、マッサ				5
	12	コンサルテーション				3
	13	滝川講習会(フェイシャル・ボディ)				5
	14	フェイシャル通し練習				5
	15	フェイシャル模擬②				5
	16	フェイシャル模擬③				5
	17	フェイシャル実技試験(1年合同)				5
	18	アロマセラピー①				3
	19	リフレクソロジー理論・実技(フットバス、ファイル、リフレクソロジー)				5
	20	アロマセラピー②				5
	21	ヘッドマッサージ				3
	22	タオルの上からマッサージ①				3
	23	タオルの上からマッサージ②				3
		合計時間数				
教科書	一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 技術編Ⅰ					
時間外 学習	次回授業に向けて自宅学習にて復習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

対象学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	4月～9月
授業科目	メイクアップ実習Ⅱ		担当者	島袋 / 大城	科目必修区分	必須
授業概要 (目的)	お顔の構成要素(ポイントパーツ)を理解し、それらの特徴活かしたメイクアップの実践 応用メイク(年代別メイク、舞台メイク、トレンドメイク)を習得する					
到達目標	お顔分析に合わせたメイクアップの提案・実践ができる メイクアップの理論を(ロジック)を理解し、メイクアップ技術の取得 フォトコンテスト作品作成入賞					
授業計画	総授業時間数 84時間 授業回数 24回 1回授業 45分					授業時間数
	1	前期メイクアップ授業説明/模写メイク アイライン×ドットデザイン				3
	2	メイクの歴史 時代別メイク(1990年代)				5
	3～5	今期トレンドメイク				13
	6～9	外国人風メイク(欧米)レッスン/相手に合わせた欧米メイク考案/実践				12
	10	企業研究プレゼン授業実践				5
	11	外部福祉施設ボランティア リタッチメイク練習				3
	12	外部福祉施設ボランティア				3
	13～18	フォトコンテスト作品作成①				18
	19	フォトコンテスト作品撮影				3
	20	ツィッギーメイク(1960年代)				3
	21	歌舞伎メイク				5
	22～24	模写メイク説明(お顔分析に基づき、個性を活かすメイクアップ)				11
		合計時間数				84
教科書	shuuemuraテキスト 日本化粧品検定2級テキスト					
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員		備考	
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	演習	講義時期	10月～2月
授業科目	就職実務		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業研究を通して就職活動に必要とされる情報収集の仕方を学ぶ。併せて、テーマに沿った効果的な手法で意見発表ができるようプレゼンテーションスキルを習得する					
到達目標	・企業研究を行い、試験対策を行い希望企業への内定を獲得する ・自身の内定企業について、企業概要、魅力をプレゼンテーションすることができる					
授業計画	総授業時間数 24 時間 授業回数 13回 1回授業 45分					授業時間数
	1～2	企業説明会・職業研究				9
	3～8	就活スケジュール作成・自己分析・面接練習				8
	9～12	社会人基礎力(接客マナー)・入社前研修				5
	13	内定先説明会資料作成・発表				2
		合計時間数				24
	教科書	特になし				
時間外 学習	内定先についての情報収集活動					
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義 ・ 演習	講義時期	4月～3月	
授業科目	ヒューマンスキル		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	様々な行事への取り組みを通して、主体性、協調性、企画運営力、コミュニケーション力など、社会人として必要とされる基本的な能力を磨く						
到達目標	・授業及び行事、就職活動等への取り組みについて、自ら考え主体的に行動することができる						
授業計画	総授業時間数 65時間 授業回数 17回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	2年次動機づけ・年間スケジュール					1
	2	副校長によるHS					3
	3	新入生歓迎会					4
	4	健康診断					2
	5	ライフプラン講座					2
	6	卒業制作(Bフェス)振り返り					2
	7	終業日(夏休みの注意事項・スケジュール確認)					3
	8	始業日(コース選択について)					1
	9～12	学園祭準備・学園祭					22
	13	学園祭片付け・道具類の整理整頓(大掃除)・スケジュール確認					4
	14	始業日(スケジュール確認・卒業試験について)					2
	15	卒業試験レイアウト準備					3
	16	ありがとうサロン準備・ありがとうサロン(保護者会)					13
	17	終業日					3
		合計時間数					65
教科書	特になし						
時間外 学習	各目的に応じた目標を達成するために必要に応じ時間外学習として取り組む						
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント)						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	4月～9月
授業科目	ネイル実習Ⅱ		担当者	金城 梓	科目必修区分	必須
授業概要	ジェル技術に必要な技術理論と、基礎テクニック、爪のケア、カラーリング、基本アートの技術を修得する					
到達目標	・JNECネイル検定2級取得（チップ&ラップ技術が30分以内、課題アートができる） ・ジェルネイルサロンワーク実技 (ジェルネイル材料の特性を生かしたデザインやカラーリングができる) (ジェル1色塗(ワンカラー)りが片手30分、ジェルオフ35分でできる)					
授業計画	総授業時間数 85時間		授業回数 20回		1回授業 45分	授業時間数
	1～8	2級フルタイム通し練習				44
	9	トレンドジェルデザイン分解・作成				2
	10	マシンオフ、ケア・1年生交流授業(ジェルオフ)				5
	11～12	フォルム形成・サロンファイリング				10
	13	サロンワーク(フルチップ・ハーフチップ長さだし)				3
	14～15	トレンドジェルデザイン				6
	16	サロンワーク(フォルム形成・ワンカラー)				3
	17	サロンワーク(マシンオフ、ケア・シンプルデザイン)				3
	18～20	サロンワーク(フォルム形成・トレンドデザイン)				9
		合計時間数				85
	教科書	テクニカルシステムジェルネイル				
時間外学習	次回授業までの復習のため、自宅学習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義	講義時期	4月～6月
授業科目	ネイル概論		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	サロンデザインの基盤としてジェルネイルトレンド技術を学び、分析力を身に付ける					
到達目標	・ジェルデザインの工程を分解する事ができる ・デザインシートにデザイン内容を分かりやすく表記する事ができる					
授業計画	総授業時間数		6時間	授業回数	2回	1回授業 45分
	1～4	ジェルネイルトレンド分析・デザイン分析				6
		合計時間数				6
	教科書	テクニカルシステムベーシック、テクニカルシステムジェルネイル				
時間外 学習	評価なし					
成績評価 方法						
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	10月～2月
授業科目	専門応用実習(メイク)		担当者	島袋	科目必修区分	選択
授業概要 (目的)	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を修得する					
到達目標	JMAメイクアップ1級検定、日本化粧品検定1級検定試験取得。お客様の肌悩み、気がかりなどを聞き出し要望に沿った提案ができる。化粧品の中身や成分、ボディケア、ヘアケア、ネイル、香り、オーラルケア、化粧品にまつわるルール等、専門的知識を習得する。対応力の強化(状況に応じた接客、カウンセリング、施術ができる)					
授業計画	総授業時間数 180時間 授業回数 42回 1回授業 45分					授業時間数
	1	コース選択への心構え、選考別(メイク関係のお仕事)仕事の理解、目標設定 検定試験(JMA/日本化粧品検定)概要説明 今期トレンドメイク				5
	2	デザインメイク				5
	3	日本化粧品検定1級対策 化粧の歴史				3
	4～8	日本化粧品検定1級対策 化粧品の原料				15
	9～16	日本化粧品検定1級対策 化粧の種類と特徴				20
	17～20	日本化粧品検定1級対策 化粧品にまつわるルール				10
	21	日本化粧品検定1級対策 化粧の官能評価				5
	22	復習/まとめ				5
	23	日本化粧品検定1級対策模擬試験				5
	24	「イメージメイク理論」・イメージ分類・イメージに近づくポイントメイクの 色、形・ 質感・キュート・エレガント・フレッシュ・クールイメージメイクデザイン				5
	25～28	「イメージメイク実習①」・キュートメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの 書き方 ・モデルの顔をキュートメイクに近づけるポイント ・エレガントメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの描き方 ・モデルの顔をエレガントメイクに近づけるポイント ・フレッシュメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をフレッシュメイクに近づけるポイント(実習 45 分) ・クールメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの描き方 ・モデルの顔をクールメイクに近づけるポイント				20
	29	「メイクアップの強弱①」・ポイントメイクのイメージ・ポイントメイクのバランス ・アイブローを強調したメイク・アイメイクを強調したメイク・フルメイクレッスン ・リップを強調したメイク・チークを強調したメイク				5
	30～32	「カウンセリング①」・カウンセリングのポイント・カウンセリングシートの活用 ・カウンセリング～メイク設計・カウンセリングレッスン(外部モデル)				15
	33	「スピードスキンケア」・スピードメイクオフ～スキンケア・カウンセリング				5
	34	「スピードメイクのポイント」・メイク設計とアイテム選び・フルメイクチェック				5
	35～38	検定試験模擬練習				20
	39～40	化粧品ラッピング(基本/ギフト)化粧品ディスプレイ(基本・応用)				9
	41～42	卒業試験				10
	43	卒業試験模擬試験				5
	44	卒業試験実技、卒業試験筆記				8
	合計時間数					180
教科書	JMA1級テキスト 日本化粧品検定2級テキスト					
時間外 学習	次回授業まで自宅学習にて復習を行う/動画学習					
成績評価 方法	出席率、確認テスト、授業態度、課題評価、評価テスト					
	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介	https://www.bmode.ac.jp/					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	10月～2月
授業科目	専門応用実習(ネイル)		担当者	金城 梓	科目必修区分	選択
授業概要 (目的)	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を修得する					
到達目標	・JNAジェルネイル技能検定試験中級 工程ができる (カラーグラデーション、ジェルスカルプチュア、フレンチネイル) ・JNAネイル検定1級レベルの技術工程ができる (アクリルスカルプチュア、チップオーバーレイ、3Dアート)					
授業計画	総授業時間数 180時間 授業回数 44 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	ジェルスカ・アクリルスカルプチュア(ミクスチュアコントロール・エンボスアート)				5
	2	ジェルスカ・アクリルスカルプチュア(ミクスチュアコントロール・3Dアート)				5
	3～5	アクリルスカルプチュア(チップオーバーレイ)				9
	6～8	ジェル中級技術ポイント練習(カラグラ・フレンチ・長さだし)				9
	9～14	ジェル中級検定通し練習				21
	15	ジェル中級模擬試験				5
	16～20	ジェル中級検定通し練習				21
	21	ジェルネイル中級検定校内試験				5
	22～27	サロンワークレッスン(カウンセリング・施術・基本業務)				27
	28	マシンオフ、ケア・アクリルスカルプチュア				3
	29～31	ジェルスカ(上級)・アクリルスカルプチュア				13
	32	ジェルスカ(上級)・アクリルスカルプチュア				3
	33～34	フットネイル(ケア・ファイリング・ジェルデザイン・角質ケア)				10
	35～37	ジェルスカ(上級)・アクリルスカルプチュア				13
	38～41	商品ラッピング・卒業試験対策(サロンワーク)				18
	42	卒業試験模擬試験				5
	43	卒業試験実技				5
	44	卒業試験筆記				3
	合計時間数					180
教科書	テクニカルシステムジェルネイル					
時間外 学習	次回授業までの復習のため、自宅学習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考		
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	実習 ・ 講義	講義時期	10月～2月
授業科目	専門応用実習(エステティック実習)		担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	選択
授業概要 (目的)	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を習得する					
到達目標	・公益社団法人日本アロマ環境協会 アロマ検定1級取得 (精油の基礎知識を学び、美容と健康、ライフスタイル、アドバイスに役立てることができる) ・一般社団法人 日本エステティック協会 認定衛生管理者資格取得 (エステティックサロンにおける感染症の知識を理解し、適切な衛生、消毒ができる) ・エステ応用技術(リフレクソロジー、ヘッドマッサージ、肌別トリートメント)ができる					
授業計画	総授業時間数 180時間 授業回数 42回 1回授業 45分					授業時間数
	1	コース選択授業動機付け・アロマセラピー基本、精油の定義				5
	2	アロマ呼吸法・プレマッサージ練習				5
	3	きちんと知りたい精油のこと・応用背中マッサージ①				5
	4	アロマセラピー精油のプロフィール1・背中マッサージ②				5
	5	アロマセラピー精油のプロフィール2				3
	6	応用クレンジング・アロマセラピー利用法				3
	7	アロマセラピーと健康、美容法・応用マッサージ①				3
	8	アロマセラピーに関係する法律・歴史1 模擬①応用マッサージ②				3
	9	アロマ検定模擬②				3
	10～11	カウンセリング、応用マッサージ③④				10
	12	応用マッサージテスト				3
	13	東洋医学理論				3
	14	午前:リフレクソロジー理論 午後:リフレクソロジー				5
	15	午前:タラソセラピー理論 午後:リフレクソロジー				5
	16	午前:脱毛理論 午後:リフレクソロジーテスト				3
	17	脱毛実習				5
	18	応用:ホワイニングトリートメント				5
	21～23	ヘッドマッサージ①②・カウンセリング①②③				11
	24～25	アロマ応用				10
	26～27	衛生管理①②石こうパック				10
	28～29	衛生管理③④				8
	30	午前:衛生管理試験対策 午後:衛生管理試験				5
	31～34	ボディ応用下肢、ボディ応用下肢・背中、ボディ応用通し、ボディ応用テスト				18
	35～37	卒業試験練習				13
	38～39	ディスプレイ・ラッピング				10
	40～41	卒業試験練習				8
	42～44	卒業試験模擬、卒業試験実技、卒業試験筆記				13
	合計時間数					180
教科書	アロマセラピー検定公式テキスト・新エステティック学技術編Ⅰ・理論編Ⅱ・衛生管理テキスト					
時間外 学習	アロマセラピー検定1級合格に向けて、自宅学習で問題集を解く					
	より専門的な実技習得に向けて、自宅での復習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介	https://www.bmode.ac.jp/					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	4月～1月
授業科目	サロンワーク実習		担当者	金城 梓	科目必修区分	必須
授業概要 (目的)	学んだ美容技術を外部(専門学生、高校生)へレクチャーし、実践経験を積む スチューデントサロン(模擬店舗)を通して、基本的業務の流れ及び具体的業務内容、接客の技術を習得する					
到達目標	・リクルートメイクの方法、ポイント、道具の使用法を教えることができる ・サロン運営に必要とされる一連の基本的業務ができる (サロンメニュー、フライヤー作成、SNS広告、予約管理、接客サービス)					
授業計画	総授業時間数 90時間 授業回数 25回 1回授業 45分					授業時間数
	1	サロンメニュー研究・運営に向けた基礎作り(サロン方針)				3
	2	運営準備(メニュー決め・役割決め・サロンフライヤー作成)				5
	3	サロンメニュー練習・接客ロールプレイング				5
	4	サロン運営シミュレーション①・振り返り				5
	5	サロン運営シミュレーション②・振り返り				5
	6	サロンメニュー練習・接客ロールプレイング				3
	7	サロンメニュー練習・接客ロールプレイング				5
	8～9	美容科合同サロン①②				12
	10	合同サロン片付け・振り返り				3
	11～12	カウンセリング対策				2
	13	カウンセリングシミュレーション				3
	14～15	運営準備(メニュー決め・役割決め・サロンフライヤー作成・SNS運用)				4
	16～21	サロンメニュー練習・接客ロールプレイング・告知活動				22
	22～23	サロン運営①②				10
	24	サロン片付け・振り返り				3
	合計時間数					90
教科書	特になし					
時間外 学習	サロンワーク実習に向けた実技復習のため、自宅学習を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	1月
授業科目	観光概論		担当者	知念/金城	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	接客業に携わることを想定し、沖縄の文化や歴史・観光地について、グループワーク等を通し情報 収集を行い知識を深める					
到達目標	沖縄の歴史や観光地について学習しコミュニケーションツールとして活用できる					
授業計画	総授業時間数 9 時間 授業回数 3回 1回授業 45分					授業時間数
	1	沖縄の歴史について／沖縄の観光スポットを知ろう(グループワーク)				3
	2	スポット箇所グループプレゼンテーション				3
	3	首里城散策				3
		合計時間数				9
	教科書	特になし				
時間外 学習	学んだ内容についてのまとめ作業(パワーポイントを作成して提出)					
成績評価 方法	評価なし					
担当詳細	1. 実務家 2. 教員		備 考			
実務経験紹介		<u>二</u>				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校 ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	4月～6月
授業科目	志学Ⅱ		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる					
到達目標	社会人に求められる能力(社会人基礎力)について理解し、その能力を元にロールモデルを探し論理的に考え方、伝え方の手法を学び、自身の志を立て伝える					
授業計画	総授業時間数 15時間 授業回数 5 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	「志学Ⅱ」 序章 ・学習の目標とねらい ・学び方 ・夢や希望を整理する ・夢を志へ高める ・志とは ・志を立てる為に必要なこと				3
	2	～第2章～ 感化力「志」高く生きた人に学ぶ ・吉田松蔭の行動 ・吉田松蔭の「志」の背景 ・吉田松蔭が大切にしたい言葉 ・考え方・生きる姿勢～吉田松蔭の力～ ・社会で求められる能力 ・人生のロールモデルの探し方				3
	3	～第3章～ 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く (前半) ・考え方から生まれる「言葉」 ・言葉は心 ・「伝える力」を高める ・伝わる「伝え方」 ・「伝える」ために必要な要素				3
	4	～第4章～ 考える力(思考力)を磨く (前半) ・逆境を乗り越えるために ・「考える力(思考力)」 ・自己を把握する ～私の将来像～ ・自己を把握する ～日常生活における時間の使い方～ ・自己を把握する ～社会が認める(求める)能力～ ・「考える力」を高める				3
	5	～第5章～ 私の「志」 (前半) ・仕事の世界は「夢」や「志」で成り立つ ・私の「志」を立てる ・私の「志」を伝える				3
	合計時間数					15
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱテキスト					
時間外 学習	自身の志を立てるにあたり“ロールモデル”を探す					
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介	—					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	6月～7月	
授業科目	卒業制作		担当者	金城 梓	科目必修区分	必須	
授業概要 (目的)	学習成果の発表として、エステ・ネイル・メイクの技術を用いて、プロデュースする						
到達目標	・エステ・メイク・ネイル、パーソナルカラーの知識、技術を用いて、モデルをより美しく変化させることができる						
授業計画	総授業時間数 87時間 授業回数 15 回 1回授業 45分					授業時間数	
	1	卒業制作発表会 テーマ案					3
	2	グループ発表・テーマ決め、構成考案・スケジュール					6
	3	構成考案・スケジュール、プラン組み立て					6
	4	構成考案・スケジュール、プラン組み立て					6
	5	作品作成、プレゼン準備					6
	6	シミュレーション					6
	7	合同通しシミュレーション					6
	8	合同通しシミュレーション					6
	9	合同通しシミュレーション					6
	10	合同通しシミュレーション					6
	11	リハーサル					6
	12	リハーサル					6
	13	リハーサル					6
	14	会場リハーサル					6
	15	卒業制作発表会					6
		合計時間数					87
教科書							
時間外 学習							
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	1. 実務家		2. 教員	備考			
実務経験紹介		https://www.bmode.ac.jp/					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 専修学校ビューティーモードカレッジ

学科・学年	TB科2年		授業方法	実習	講義時期	7月～10月
授業科目	セルフヘアアレンジ		担当者	平良 みのり	科目必修区分	
授業概要 (目的)	応用ヘアアレンジテクニックを学び、卒業制作に向け、テーマに合わせた作品完成 TPOに合わせたセルフヘアアレンジを習得し自身のヘアメイク技術力を高める。美容施術者として、お客様に好感を与えられる身だしなみを学ぶ					
到達目標	最新のトレンドを取り入れたヘアアレンジや、オリジナルのヘアスタイルを考案・実現できる創造性を磨き、作品、TPO(就活・パーティ・日常)に合わせたセルフスタイリング技術ができる					
授業計画	総授業時間数 15時間 授業回数 6 回 1回授業 45分					授業時間数
	1	卒業制作発表会制作準備 ヘアアレンジ				3
	2	卒業制作発表会制作準備 ヘアアレンジ				3
	3	応用ヘアアレンジ①就活、サロンスタイル				3
	4	応用ヘアアレンジ②パーティスタイル				3
	5	応用ヘアアレンジ③セルフヘアメイク作品制作・撮影				3
		合計時間数				15
教科書						
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考			
実務経験紹介	—					